

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選		授業担当者 Instructor	実務 経験
会計学総論	～218	1年生・後期	2単位	経営 必修	NW 選択	津守 常弘	
履修の前提条件	「会計学入門Ⅰ」、商業簿記など会計学の初歩的な知識を習得していることが望ましい。						
授業概要 (Course Outline)							
複式簿記システムに関する初歩的な理解を基礎にして、企業会計制度とくに財務会計制度の全体像と主要な概念・問題点について学習します。							
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)							
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture						○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature						
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening						
	数量的スキル Mathematics						○
	情報リテラシー Information Literacy						
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking						○
	問題解決力 Problem Solving						
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy						○
	自己管理能力 Self-management						
	チームワーク Teamwork						
	リーダーシップ Leadership						
	倫理観 Ethical Sense						
	市民としての社会的責任 Social Responsibility						○
生涯学習力 Lifelong Learning							
到達目標 (Objectives)							
現在、会計学の知識は誰もが身に着けておかなければならない常識になっています。「会計学総論」では、このような社会的要請に応えるため、①会計学分野のすべての科目に通じる基礎的な知識を習得することを第一の目標とし、②さらに企業経営に関わる数感覚と計算感覚を体得する手掛かりをえることを第二の目標とします。我慢強く地道な努力をすれば誰にでも修得できます。							
事前学習の内容	毎回の講義の前にはテキストの該当箇所を必ず予習しておくこと。						
事後学習の内容	講義内容の要点は必ずノートし、次回の講義に備えておくこと。						
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)							
講義内容および講義資料の性質に応じて、対話的な授業を行います。							
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)							
学習上の質問、相談については、講義終了後、教室または研究室(454)で受け付けます。 オフィスアワー: 水曜日4時限目に研究室。							
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について							
ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。							

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	簿記・会計システムの基礎的な仕組みについて論理的に学習し直します。		
第2回	企業会計制度の各部門の仕組みと役割(テキスト第1章IV)について学習します。		
第3回	企業会計の仕組み:その1 —技術的特徴(テキスト第2章)について学習します。		
第4回	企業会計の仕組み:その2 —理論的特徴(テキスト第3章)について学習します。		
第5回	法制度としての企業会計の諸制度(テキスト第4章) について学習します。		
第6回	資産会計:その1 —会計における資産の意味・分類・評価基準(テキスト第5章)について学習します。		
第7回	資産会計:その2 —資産の種類とその具体的な問題点(テキスト第5章)について学習します。		
第8回	負債会計:負債の意味・分類とその具体的な問題点(テキスト第6章)について学習します。		
第9回	資本会計:その1 —会計における資本の意味・分類とその問題点(テキスト第7章)について学習します。		
第10回	資本会計:その2 —剰余金の意味・分類とその問題点(テキスト第7章)について学習します。		
第11回	損益会計:その1 —損益会計の重要性と諸原則(テキスト第8章)について学習します。		
第12回	損益会計:その2 —損益項目の分類と具体的な問題点(テキスト第8章)について学習します。		
第13回	財務諸表:その1 —財務諸表作成の意味と形式の法律別形式の相違(テキスト第9章)について学習しま		
第14回	財務諸表:その2 —財務諸表の作成方法の原則と種類(テキスト第9章)について学習します。		
第15回	財務諸表分析の意義・目的と基本的な方法(テキスト第11章)について学習します。		
第16回	定期試験等		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
『新版 現代会計学』	新井清光・川村義則	中央経済社	
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
講義用資料を必要に応じて配布します。			
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
(1) 学期末試験を行う。(2) 必要に応じて中間試験を行う。			